農業ひろさき

2020年1月1日　（第167号）
（令和2年1月1日）

編集と発行 ： 弘前市農業委員会
弘前市大字上白銀町1-1　前川本館3階　電話0172-40-7104

令和元年度青森県農業委員会大会

11月21日、令和元年度青森県農業委員会大会が青森市で開催され県内の農業委員、農地利用最適化推進委員ら約千人が参加しました。

大会では、参加者全員で農業委員会憲章を唱和し、「人・農地プラン」の実質化に向けた農業委員会のあり方についての基調講演があり、今後の農地利用の最適化に向けて果たす役割など参加した委員は理解を深めていました。

議事では、「農地利用の最適化」の取り組みを強化するための政策提案1件と、申し合わせ決議事項3件の議案4件をいずれも満場一致で決議しました。

また、今大会で当市農業委員会が「優良農業委員会」として青森県知事賞を受賞、木村芳文委員が「農政功労農業委員」として青森県農業会議会長賞を受賞しました。



青森県知事賞を受賞する伊藤職務代理者


農業委員会憲章を唱和する当市の委員

【決議された政策提案の概要】

1．農地の確保と有効利用の促進	農地中間管理事業の5年後見直しの着実な推進／「守るべき農地」の明確化と対策の強化
2．担い手の育成・確保と経営支援	新規就農に必要な支援の充実／農業者年金の制度・運用の改善／果樹経営支援対策事業の拡充／りんご黒星病の蔓延防止と撲滅対策の強化
3．鳥獣被害対策の強化	
4．突発的な自然災害等への万全な支援と復旧・復興に備える対策	
5．農業委員会等の体制整備と農地情報公開システムの整備・強化等	

年頭にあたって



弘前市農業委員会
会長 成田 繁則

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、度重なる台風が日本を襲い、各地に甚大な被害をもたらしました。特に10月の台風19号は、本市農業に甚大な被害をもたらした平成3年の台風19号を思い起こさせ、生産者の皆様もさぞ心配されたことと思います。

幸いにして、本市は大きな被害には見舞われませんでしたが、各地から伝えられる被害状況や平成3年当時のことを思いますと、自然災害に対する備えの必要性を改めて感じさせられたところであります。

昨年の本市農業を顧みますと、少雨による生育への影響などはあったものの、りんごでは黒星病の発生抑制にもつながったようで被害も少なく、米についても県全体では平成30年産と比べ1等米比率で幾分下回っているものの、10a当たりの収量は全国最多となっており、良い出来秋とともにより多くの人に本市の農産物をお届けできることを喜ばしく思うところであります。

当農業委員会におきましては昨年4月に、現在の農業委員会法の下で二期目を迎えました。農地利用の集積・集約、後継者や補助労働力の確保と育成など、一朝一夕で解決できない課題が山積しておりますが、一期目で培った経験を礎に、解決に向け、現地調査や人と農地のマッチング、要請活動などを引き続き進めていくとともに、農地集積を進めていくため、地域の協議に一層積極的に関わって参ります。

本年も、本市農業・農村の持続的発展のため、皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして良い年でありますよう祈念いたします。

弘前市青年交流会
～農業青年とのスイーツな出会い2020～



料理とスイーツを楽しみながら、
ステキなひとときを過ごしませんか。

◆**日時**　１月25日（土）
午後４時～７時
◆**場所**　ホテルニューキャッスル（上鞘師町）
３階 麗峰の間
◆**内容**　農業青年と一緒に料理とスイーツを楽しむ交流パーティー
◆**対象**　おおむね25歳～50歳の独身男女
（男性は市内に居住する農業青年）
◆**定員**　男女各15人
◆**参加料**　男性＝4,000円、女性＝2,000円
◆**その他**　男性は、スーツ又はジャケット着用でお越しください。参加女性には、りんごとりんごを使った焼き菓子をプレゼントします。



◆**申込締切**　１月15日（水）
■**問い合わせ・申込先**
弘前市青年交流会実行委員会事務局
（農業委員会農政係・市役所前川本館３階）
☎４０－７１０４
Ｅメール：nougyou@city.hirosaki.lg.jp

弘前市青年交流会《実行委員募集中!!》



弘前市青年交流会実行委員会は、農家の担い手として活躍する農業青年（弘前市に居住するおおむね20歳から45歳までの独身の農業者または農業後継者）で組織しており、現在17名の実行委員で活動をしています。

毎月の定例会では、自分達で運営している交流会が農作業を頑張っている農業青年達の素敵な出会いの場になるように期待しつつ様々な意見を出し合い、企画を練ったり、情報交換をしています。交流会前には、商店街でのポスター・チラシ配布やラジオに出演するなど、参加呼びかけにも力を入れています。また、実行委員は、奉仕の心をモットーに、遊休農地防止のための草刈作業や河川のごみ拾いに参加するなどボランティア活動にも積極的に取り組み、地域の方々との交流も大切にしています。なお、実行委員会では、交流会を企画・運営する実行委員（男女問わず）を募集しています。



イベントの企画・運営に興味のある人、出会いを探している人、友達の輪を広げたい人など、たくさんの応募をお待ちしています。農業青年のみなさん、一緒に交流会を盛り上げましょう!! 活動の様子は、実行委員会のフェイスブックでご覧いただけます。

■**問い合わせ先**　弘前市青年交流会実行委員会事務局（農業委員会農政係）☎４０－７１０４

市内の独身農業者の方（男・女）！一緒に会を盛り上げませんか♪

りんご産業イノベーションセミナー/りんごスマート農業展示会を開催

「りんご産業とスマート農業の未来を考える」をテーマに、果樹におけるスマート農業の現状に関するセミナーと、果樹で活用できるアシストスーツや栽培管理システムを展示するスマート農業展示会を開催します。

◆**日時**　２月３日（月）　展示会：午前10時30分～ ／ セミナー：午後１時～　◆**場所**　ヒロロ３階・４階（駅前町）

◆**内容**

時間	りんご産業イノベーションセミナー（13：00～15：30） 市民文化交流館ホール／ヒロロ４階
13：00	開　会
13：20 （40分）	果樹におけるスマート農業の実現に向けて 農林水産省生産局園芸作物課　課長補佐　光廣政男氏
14：00	休　憩
14：10 （40分）	スマート農業導入における社会的経済的課題 弘前大学農学生命科学部 准教授　成田拓未氏
14：50 （40分）	次世代につなぐスマートな経営と産地 農業データ連携基盤協議会普及戦略担当ディレクター　末澤克彦氏
15：30	閉　会

時間	りんごスマート農業展示会（10：30～16：30） 市民文化交流館イベントスペース／ヒロロ３階
10：30	スマート農業展示会開始
	（展示内容） ・自動草刈機、リモコン式草刈機 ・営農管理システム ・アシストスーツ等 ※展示内容は決まり次第、随時市ホームページでお知らせいたします。
16：30	終了

◆**参加料**　無　料
◆**申し込み**　セミナーにご参加の方は、１月31日（金）までに電話かファックスまたはＥメール（氏名・居住市町村・所属（勤務先等）・電話番号を記入）で申し込みください。※展示会のみ参加の方は申し込み不要です。
■**問い合わせ・申込先**　りんご課生産振興係（市役所前川本館３階）☎４０－７１０５
ＦＡＸ３８－５８７０　Ｅメール：ringo@city.hirosaki.lg.jp

「清水森ナンバ」を栽培してみませんか

弘前在来トウガラシ「清水森ナンバ」を栽培する新規会員を募集しています。
なお、健康な土で高品質なナンバを栽培するために、栽培を始める前に土壌診断をする必要があります。



■**問い合わせ先**　在来津軽「清水森ナンバ」ブランド確立研究会事務局
（青森県特産品センター内：中村さん）☎３９－１８１１

地域農業の将来設計図「人・農地プラン」に関する集落座談会の開催について

「人・農地プラン」は、地域の話し合いに基づき、担い手への農地の継承や将来の農地利用のあり方などの地域農業の方向性を定める計画です。

計画は、集落での話し合いにより、定期的に見直しを行っており、下記の日程で集落座談会を開催します。集落座談会では、貸付け意向のある農地を落とし込んだ図面などを使い、農地の集約化等について具体的な話し合いを行います。５年後、10年後に直面する課題や危機を認識・共有し、今後の地域農業のあり方などを決める場ですので、「地域の中心となる経営体」の方や農地の出し手の方の積極的な参加をお願いします。

また、「地域の中心となる経営体」としてプランへの掲載を希望する方や、補助事業の活用を検討している方も、該当する地域の集落座談会への出席をお願いします。

地域名	開催日	時間	会場
相馬	１月27日(月)	13:30～	中央公民館相馬館
清水	１月28日(火)	13:30～	清水公民館
岩木	１月29日(水)	13:30～	中央公民館岩木館
藤代・船沢・高杉	１月31日(金)	13:30～	高杉ふれあいセンター
新和	２月　４日(火)	13:30～	新和公民館
裾野	２月　５日(水)	13:30～	裾野公民館
石川	２月　６日(木)	13:30～	JA津軽みらい 石川基幹支店
旧市・和徳・豊田・堀越	２月　７日(金)	13:30～	総合学習センター
東目屋	２月10日(月)	13:30～	東目屋公民館
千年	２月12日(水)	13:30～	千年公民館

※事前の申し込みは不要です。

■**問い合わせ先**　農政課農業振興係（市役所前川本館３階）
☎４０－０７６７

「人・農地プランの実質化」に関する営農状況調査を実施しています

市では、農業者が地域の現状・課題を共有し、話し合いを行い、地域農業の将来のあり方を明らかにするための基礎調査として、下記のとおり、今後の営農に関する調査を行っています。この調査結果を基に、市が、地域における「今後の10年間の農地利用のあり方」などの将来方針（案）を作成し、「人・農地プラン」の集落座談会において、誰に農地を集積するかなどを地域の農業者の方々に話し合ってもらいます。

議論の活性化に必要な情報を収集するための重要な調査ですので、調査票が届いた方は、お手数ですが、必ずご回答くださるようお願いいたします。

【営農状況調査実施概要】

・**調査対象者**：以下の①～③のいずれかに該当する方
①弘前市内で耕作する農業者で農業委員会が実施する「営農意向調査」に未回答の方（世帯）
②「営農意向調査」に回答済みの方のうち、平成30年12月31日時点で65歳以上の方（世帯）
③弘前市への入作者

・**調査期間**：令和元年12月～令和２年１月

・**調査方法**：調査対象者に個別に調査票を郵送し、回答後、返信用封筒で提出（郵送）していただきます。

※なお、郵送での回収後、必要に応じて未回答の方に戸別訪問を行う場合があります。

■**問い合わせ先**　農政課農業振興係（市役所前川本館３階）
☎４０－０７６７

りんご園等改植事業（令和２年春・秋植え分）

市では、りんごや特産果樹の改植事業（令和２年春・秋植え分）の実施受付を行います。補助事業の活用をお考えの方は下記期間内に申し込みください。

◆**補助対象者**　果樹栽培農家または農地所有適格法人
※丸葉は60歳未満（令和３年３月末時点）の方に限ります。

◆**事業内容**
①りんご…わい化・丸葉への新植・改植に要する経費
②特産果樹（ぶどう、もも、おうとう、なし ほか）
…新植・改植に要する経費
③事業実施後の未収益期間（４年間分）の園地管理費用に対する補助

◆**採択基準**
植栽面積が地続きで２㌃以上かつ新植・改植であること。
※補植（植栽する木と残す木が交互に並ぶ）は対象外です。

◆**植栽間隔**
①りんご（わい化）：列間４～６㍍、樹間２～３㍍
②りんご（丸葉）：列間・樹間ともに６～９㍍
③特産果樹：種類ごとに異なりますので、お問い合わせください。

◆**植栽面積の算定方法**　列間距離×樹間距離×植栽本数

◆**補助対象経費**　苗木購入費、資材購入費、植栽関連費、支柱購入費など

※補助対象経費となる苗木などを、市外に本店を有する業者から購入する場合は「理由書」の提出が必要となります。

◆**補助額**
〇新植・改植部分
①りんご（わい化）…補助対象経費の実費、もしくは定額（10㌃あたり16万円）のいずれか少ない額以内の額
②りんご（丸葉）・特産果樹：補助対象経費の実費、もしくは定額（10㌃あたり８万円）のいずれか少ない額以内の額
〇未収益部分…定額（１０㌃あたり１０万円）以内の額
※この金額は４年間分であり、一括交付します。

◆**申込期間**　２月３日（月）～２月17日（月）
※園地の所在地（番地まで）・面積、品種・本数・植栽間隔、改植の場合は伐採品種・本数をお知らせください。
※植栽予定図をお持ちください。

■**問い合わせ先**　りんご課生産振興係（市役所前川本館３階）
☎４０－７１０５
※今後、内容が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

「弘前市りんご公園ウィンターフェスティバル」

◆**日　時**　１月25日(土)・26日(日) 午前10時～午後３時
◆**場　所**　市りんご公園（清水森字寺沢）
◆**参加料**　無　料
◆**内　容**　そり滑り、絵本読み聞かせ、津軽昔語り、雪上レクなどを予定。



■**問い合わせ先**　弘前市りんご公園（担当：大瀬）
☎３６－７４３９

弘前市青年交流会を、企画・運営する実行委員を募集中！

青色申告を始めましょう！ ～税務署の申請期限は３月15日です！



平成31年１月から収入保険制度がスタートしました。

収入保険は、品目の枠にとらわれず、自然災害による収量減少だけでなく、価格低下などを含めた収入減少を補填する保険です。

収入保険に加入するには、青色申告の実績が少なくとも１年分必要です。青色申告は、収入保険に加入できるだけでなく、節税や経営の客観的な把握のための重要なツールです。

今年こそ青色申告を始めて自身の経営力をアップさせましょう！

・新たに青色申告を始めるためには、個人の場合、３月15日までに、税務署に「所得税の青色申告承認申請書」を提出する必要があります。

・今年から青色申告を始めれば、令和４年から収入保険に加入することができます。



「青色申告」の研修会を開催します！

青色申告に取り組みたいと考えている方に、青色申告や収入保険のポイントについて学べる研修会を開催します。ぜひご参加ください。

❖「収入保険の入口！青色申告研修会」❖

◆**日時**　１月30日（木）午後１時～４時30分
◆**場所**　弘前市民会館１階「大会議室」
◆**内容**　①「青色申告の基礎と実践」初心者向け青色申告のポイント／②「収入保険制度について」収入保険のポイントなど ※電卓、筆記用具を持参ください。
◆**参加料**　無料（50名程度）
◆**対象**　市内農業者
■**問い合わせ・申込先**　１月23日(木)までに、電話で弘前市担い手育成総合支援協議会（農政課農業振興係、市役所前川本館３階）まで　☎４０－０７６７

りんご生産者向けトレーニング教室 @温水プール石川

◆**日　時**　１月17日～３月17日の毎週火・金曜日…午後６時～　※祝日を除く
◆**場　所**　温水プール石川　健康ルーム　（小金崎字村元）
◆**内　容**　マシンを利用した筋トレと、ストレッチを合わせた45分程度のメニュー
◆**対　象**　りんご産業に携わる50歳以上の市民
◆**参加料**　無　料
◆**定　員**　各回12名まで（先着順。要事前申し込み〈当日午後５時まで受付〉）
◆**持ち物**　動きやすい服装、内履き、飲み物、汗拭きタオルなど
（初回時のみ身分証明書を持参して下さい。）
■**問い合わせ・申込先**　弘前市体育協会　（温水プール石川　☎４９－７０８１）

令和元年度弘前市りんご生産者活動継続支援事業



星と森のロマントピアでも
月・水・金・日曜日に
トレーニング教室を開催中

■問い合わせ・申込はスポネット弘前（高齢者トレーニング教室）
☎８４－２２３６へ

広報委員会からの注意喚起

忘れていませんか？ー昨年までの黒星病

りんご農家の皆様におかれましては、昨年の出来秋にほっと一息ついている頃と思います。

昨年は、春から夏にかけての記録的な少雨で、黒星病の発生が少ない状況で推移しました。

そのような中でも、りんごのツルやがくあ部、花そう葉に病斑が見られた園地も多々ありました。収穫を終えた園地でも、前年ほどではありませんが葉に病斑がみられています。その葉が落葉し、雪の下で熟成され春の雪解け後に子のう胞子を飛散させます。

新薬の開発も急ピッチで進められていますが、登録までにはもう少し時間がかかりそうです。

天候次第では、一昨年のような大発生の可能性もありますので、油断せずに落葉処理等の耕種的防除や薬剤の降雨前散布と適正散布量を遵守し黒星病ゼロを目指しましょう。

謹賀新年





今年も充実した紙面づくりを心がけます。
ご愛読のほどよろしくお願いします。
（前列左から）三上悦治広報委員長、三上幸雄広報副委員長
（後列左から）小林政貴広報委員、進藤司広報委員、藤田善明広報委員



